

日本物理学会第 80 回年次大会（2025 年） 領域7インフォーマルミーティング議事録

日時：2025 年 9 月 18 日(木) 12:30 ～ 13:30

場所：SK211 会場

主催：領域7運営委員

【議事目次】

1. 学生優秀発表賞 表彰式
2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
3. 次期領域代表、副代表、運営委員の紹介
4. 次々期領域代表、副代表、領域運営委員の選出・承認【審議事項】
5. キーワードおよび合同領域設定について【審議事項】
6. 学生優秀発表賞に関する周知事項および今後のあり方について【審議事項】
7. オンライン大会でのポスターセッションのあり方について【審議事項】
8. 理事会からの審議事項について【審議事項】
9. 各種賞の締め切りなど
10. 講演概要集の提出率について
11. 次回以降の大会について

-
1. 学生優秀発表賞 表彰式

9 月 17 日 14:00-16:00 に行われた領域 7 ポスターセッションにおいて、学生優秀発表賞の審査が行われた。領域代表・副代表・領域運営委員から 14 名に審査を依頼し、以下の観点で審査を行った。

- ① 研究の意義と新規性
- ② 研究手法・考察の妥当性
- ③ 発表資料の完成度
- ④ プレゼンテーション

その結果、以下の 3 名(審査対象 14 名)を受賞者として選出した。

中村 彌法さん(東大物性研)

「新奇プロトン - 電子カップリング型圧力有機超伝導体の輸送特性」

本宮 君康さん(埼玉大院理工)

「有機ディラック電子系 α -(ET_{1-x}BETS_x)₂I₃ の構造と伝導性」

浅野 舜さん(京大理)

「キラリティ誘起スピン選択的 Peierls 転移」

インフォーマルミーティングで表彰式を行った。

2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

現領域代表 中澤 康浩先生（阪大理）

副代表 竹谷 純一先生（東大新領域）

・領域運営委員：

杉浦 栞理（東北大金研）【任期 2024 年 10 月～2025 年 9 月】

溝口 知成（筑波大数理）【任期 2024 年 10 月～2025 年 9 月】

高木 里奈（東大物性研）【任期 2025 年 4 月～2026 年 3 月】

川上 拓人（阪大理） 【任期 2025 年 4 月～2026 年 3 月】

が紹介された。

3. 次期領域代表、副代表、運営委員の紹介

領域代表 中澤 康浩先生（阪大理）

副代表 竹谷 純一先生（東大新領域）

領域運営委員：

高木 里奈（東大物性研）【任期 2025 年 4 月～2026 年 3 月】

川上 拓人（阪大理） 【任期 2025 年 4 月～2026 年 3 月】

中村 優斗（名大工） 【任期 2025 年 10 月～2026 年 9 月】

小澤 大知（NIMS） 【任期 2025 年 10 月～2026 年 9 月】

が紹介された。

4. 次々期領域代表、副代表、領域運営委員の選出・承認【審議事項】

次々期の代表、副代表として

領域代表 竹谷 純一先生（東大新領域）【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

領域副代表 森 初果先生（東大物性研）【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

が選出され、承認された。

また次々期の運営委員として

浦井 瑞紀（東大物性研） 【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

山下 侑（NIMS） 【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

が選出され、承認された。

5. キーワードおよび合同領域設定について【審議事項】

2025 年年次大会で 17. ファンデルワールス層状物質、36. カイラル物性、44. 交替磁性の3つのキーワードが追加された。これに合わせて物理学会のキーワード記載ページの合同領域に関する注釈を以下のように修正・追加することが承認された。

修正: (注) グラフェン関連の講演については領域 4 との間で関連性が強いと思われる講演を組み合わせ、合同セッションを組むことがあります。

↓

(注) グラフェンおよびファンデルワールス層状物質関連の講演については領域 4 との間で関連性が強いと思われる講演を組み合わせ、合同セッションを組むことがあります。

追加: キーワード(36) カイラル物性、(44) 交替磁性を選んだ口頭講演や関連性が強いと思われる講演に対して、領域 3 との合同セッションを設けることがあります。

6. 学生優秀発表賞に関する周知事項および今後のあり方について【審議事項】

① 学生優秀発表賞の応募規定について、現状では領域 HP に記載がある通り、年次大会(現地開催)においてはポスター発表、春季大会(オンライン)においては口頭発表が対象であることが周知された。

② 講演概要を審査対象に加えることが承認された。

③ ①のように年次大会と春季大会で審査対象が異なるため、多くの審査対象外応募が発生している。これを踏まえ、現状となった経緯を説明の後、運営委員より以下の提案を行った。

提案 1: 年次大会も口頭発表のみを対象とする。

提案 2: 年次大会では口頭発表、ポスター発表の両方を学生優秀発表賞の対象とする。

これに対し、会場で参加者から以下の意見・質問が挙がった。

- ・ 賞の趣旨から、口頭発表を除外するのは不自然である。
- ・ 審査員の負担はどのようになるのか。たとえば審査員になると全日領域 7 のセッションに参加する必要があるのか。→ 審査対象の講演は必ず聴講し、その他の時間は他領域への参加も差し支えない、という運用になると思われる。

口頭発表を加えることに反対の意見は挙がらなかった。よって口頭発表を加える方向で、今後も引き続き検討を行うことが確認された。

7. オンライン大会でのポスターセッションのあり方について【審議事項】

オンライン大会(春季大会)でのポスター発表の件数は全体として年々減少している。

領域 7 では 2023 年が 13 件、2024 年が 10 件、2025 年が 5 件であった。これを踏まえ、大会本部では次回よりポスター発表の冒頭にポスタープレビューを設けることなどが検討されていることが情報共有された。領域 7 のオンライン大会でのポスターセッションのあり方について、引き続き意見を募ることが確認された。

8. 理事会からの審議事項について【審議事項】

① 80 周年記念国際シンポジウム開催(2026 年 9 月)について、以下が報告された。

80 周年記念国際シンポジウム開催(2026 年 9 月)のお知らせ

来年、日本物理学会設立 80 周年を迎えることを記念して国際シンポジウムを開催します。

- 本シンポジウム
 - － 日程、場所:2026 年 9 月 13 日(日)、東京大学駒場キャンパス
 - － 国際的に活躍する研究者 10 名ほどの招待講演を中心に構成されます。
 - － 人選、参加登録などの詳細は現在、実行委員会で検討中です。
- 第 81 回年次大会(9 月 14 日～17 日、東大駒場)でも本シンポジウムと関連したサテライトシンポジウム(国際シンポジウム、4 本程度)を企画します。
 - － 形式は大会のシンポジウムと同じですが、国外からの講演者の旅費等を学会が一部負担します。
 - － 本シンポジウムの講演者が固まった後、実行委員会でテーマを設定し、関連する研究者に企画していただくようお声がけします(2025 年 12 月頃)。ご協力よろしく願います。
 - － 領域から提案されるシンポジウムとのコンフリクトを避けるため、2026 年 3 月までにはサテライトシンポジウムのプログラム案を決定、周知する予定です。最終的には 6 月の領域委員会で要承認。

② 領域のあり方と現状の課題について、理事会からの以下のような意見伺いがあった。

- 当領域の運営に支障があるかどうかなど、現状の課題
- 領域のあるべき姿についての意見
当領域に関するもの、物性の領域全体にわたるものなど、どのレベルでも結構です
- その他、領域制に関する意見

現運営メンバーの意見として、以下を提示した。

- － 領域のあり方について、現状領域 7 で運営に支障をきたすようなことはなく、現状維持が望ましい。
- － 発表件数が減少傾向であることについて、化学や応用物理との境界領域であるという特色をアピールする。今後は共催シンポジウムの開催などで他学会との連携を検討する。(応用物理学会は連携に前向きである。)

これに対し、会場で参加者から賛意が示された。他学会との連携については、共催のシンポジウムが可能ななどを含め、引き続き議論を行うことが確認された。

9. 各種賞の締め切りなど

第 31 回論文賞は 2025 年 10 月 6 日締切(提出先は領域代表、副代表)、第 7 回(2026 年)米沢富美子記念賞は 2025 年 10 月 6 日締切(提出先は領域代表、副代表)、かどで賞は 2025 年 12 月 12 日締切(領域を通さず、応募者が直接応募)であることが報告された。

10. 講演概要集の提出率について

第80回年次大会での領域 7 発表件数 119 件、概要集提出数 114 件、提出率 95.7%であったことが報告された。

11. 次回以降の大会について

以下が報告された。

- ・次回：2026 年春季大会

開催場所：オンライン開催

期日：2026 年 3 月 23 日(月)～26 日(木)

- ・次々回：第 81 回年次大会

開催場所：東京大学（駒場キャンパス）

期日：2026 年 9 月 14 日(月)～17 日(木)

- ・次々次回：2027 年春季大会

開催場所：オンライン開催

期日：2027 年 3 月 16 日(火)～19 日(金)

以上